

仙台総合ペット専門学校 令和6年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名(修業年限)		トリマー科トリマーコース(2年)	
黄色表示の授業科目は実務経験のある教員等による授業科目			
1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン	30		トリマーコース1
コミュニケーショントレーニング	30		トリマーコース2
ビジネスソフト実習(1)	60		トリマーコース3
ビジネスマナー	60		トリマーコース4
愛玩動物飼養管理学	60	○	トリマーコース5
犬学	60		トリマーコース6
グルーミング学(1)	60	○	トリマーコース7
グルーミング実習	360	○	トリマーコース8
しつけ入門	30		トリマーコース9
トリミング実習(1)	120	○	トリマーコース10
猫学	30	○	トリマーコース11
実務経験のある教員等による授業単位合計	630		

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアガイダンス	60		トリマーコース12
ビジネスソフト実習(2)	30		トリマーコース13
グルーミング学(2)	60	○	トリマーコース14
小動物飼育管理学	30	○	トリマーコース15
トリミング実習(2)	720	○	トリマーコース16
ペットショップ販売学	30	○	トリマーコース17
ペットの病気と健康管理	30	○	トリマーコース18
実務経験のある教員等による授業単位合計	870		

合計 1,500

令和6年度 シラバス

授業科目名	キャリアデザイン		担当者名	佐藤 千穂・亀山 陽代里			
			実務経験				
教科書	なし	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	後期	必修	講義
30							
授業概要	履歴書や志望動機の際に作成方法を理解したうえで各自取り組み、CAが1人1人の作成したものを確認しつつ進めていく。						
学習到達目標	1.就職活動に向け書類(履歴書・志望動機)の作成方法や電話対応などを理解し、実施できる。 2.企業から求められる人材となるための更なるヒューマンスキルの向上を目指す。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業の目的と今後の取り組み			授業の意義を理解する			
2	場面に応じた適切な言葉の表現			敬語を理解する			
3	インターンシップ実習の流れ			インターンシップの流れを理解する			
4	履歴書の必要性・相手が見るポイント			履歴書の必要性を理解する			
5	履歴書(身上書)の書き方・下書き			履歴書の正しい書き方を身に付ける			
6	履歴書の下書き・ペン書きの練習						
7	志望動機の作成の意味			志望動機とは何かを理解する			
8	志望動機の書き方・ポイント			志望動機の書き方で気を付ける事を理解する			
9	志望動機の作成(練習)			実際に作成し書く際のポイントを理解する			
10	得意科目欄の作成			長所や得意科目を把握する			
11	電話をかける際の注意点・準備物			電話をかける際の注意点を理解する			
12	インターンシップ実習へ出向く際の注意点			挨拶の仕方、現場スタッフへの対応方法を学ぶ			
13	封筒・お礼状作成の仕方			書類の郵送方法、お礼状作成の仕方を学ぶ			
14	期末試験						
15	就職活動に向け個人面談			2年次に向けて就職活動の方向性を確認する			

令和6年度 シラバス

授業科目名	コミュニケーショントレーニング		担当者名	佐藤 千穂・亀山 陽代里			
			実務経験				
教科書	なし	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	前期	必修	講義
	30						
授業概要	実践やグループワークを通してコミュニケーション力の向上を目指していく。また社会人として必要となる知識を身に付ける。						
学習到達目標	1.ペット業界で求められる人物になるため、エンプロイアビリティ(雇用される能力)を身につける。 2.「目配り」「気配り」「心配り」といった人と接するうえで相手に好感を与えることができ、「教えられ上手」になる。 3.メモを取る重要性、話を聴く姿勢など社会人の基礎となることを授業で伝え、授業外でも実践できる。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション(コミュニケーショントレーニングとは)			授業の意義を理解する			
2	オリエンテーション(学生マニュアル・防災マニュアル)						
3	雇用される為には何が必要か			エンプロイアビリティを理解する			
4	メラビアンの法則について			第一印象について考える			
5	バーバル・ノンバーバルについて			コミュニケーションの種類と違いについて理解する			
6	聴く姿勢①(相手の気持ちを考えた話の聴き方について①)			話を聞く姿勢を身に付ける			
7	聴く姿勢②(相手の気持ちを考えた話の聴き方について②(実践))						
8	教えられ上手について			実習先での姿勢について考える			
9	話す力・伝える力①(話す時に気を付ける事)			対応する相手による話し方の違いを理解する			
10	話す力・伝える力②(マジックフレーズ・敬語の種類)						
11	プレゼンテーション①準備			相手に伝わりやすい話し方を考え実践する			
12	プレゼンテーション②グループ発表						
13	プレゼンテーション③クラス発表・講評						
14	期末試験						
15	今までのまとめ						

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスソフト実習(1)		担当者名	間中 隆・加藤 朗			
			実務経験				
教科書	30時間でマスターWord2021 30時間でマスターExcel2021 (実教出版)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		時間数					
授業概要	ビジネス社会でパソコンは欠かせない道具(ツール)であり、ペット業界とはいえ例外ではありません。その中でもビジネス文書の作成は特に求められるスキルであり、その手段としてワープロ、表計算ソフトの利活用があります。						
学習到達目標	ビジネスソフトのひとつである表計算ソフトの基本的な操作方法を理解します。MS-Wordを使用し、基本的な操作方法を理解します。また、全国経理教育協会主催の文書処理検定(3・2級)の取得も目標とします。						
評価方法	出席・課題取組・実技試験など総合評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション、PCの使い方			教科目標、windowsの操作など			
2	文字入力			ひらがな・カタカナ・漢字・英字・記号の入力			
3	文書作成			簡単な文書を作成、文節変換			
4	文書作成			文書ファイル管理、フォルダ作成			
5	文書作成			ページのサイズ、行数、文字数、余白など			
6	文書作成			編集(移動、コピー、削除など)			
7	文書作成			編集(文字位置、インデント、箇条書き)			
8	文書作成			縦書き文書と文字装飾			
9	編集機能(表の作成)			表作成(行、列の追加・削除・線種など)			
10	編集機能(表の作成)			表作成(セルの結合・分割など)			
11	編集機能(図版の活用)			画像、テキストボックスの利用			
12	編集機能(図版の活用)			画像の編集・効果、整列、順番、グループ化、頂点)			
13	編集機能(段組、ワードアート)			段組、ワードアート、効果、ドロップキャプス			
14	編集機能(図形)			図形描画(地図作成)、トリミング			
15	前期末試験			全経2級程度の内容(入力と文書作成)			
16	編集機能(雑誌)			テキストボックスのリンク、表のボックスデザイン			
17	検定試験直前対策			全経2、3級の過去問題			
18	検定試験直前対策			全経2、3級の過去問題			
19	検定試験直前対策			全経2、3級の過去問題			
20	オリエンテーション(表計算について)			Excelの機能、画面構成、マウスポインタ、入力			
21	基本的な表作成(計算式と関数)			計算式と関数の利用(合計を求める)、効率的な入力			
22	基本的な表作成(編集)			表操作(行と列の操作)、データの移動とコピー			
23	基本的な表作成(表示形式と罫線)			関数(平均)、計算式			
24	基本的な表作成(相対参照と絶対参照)			割合の計算、特定セルの利用、複写時の注意点			
25	基本的な表作成(相対参照と絶対参照)			絶対参照(昨年比など様々な比較計算)			
26	基本的な表作成(見やすい様式)			表示形式と罫線			
27	基本的な表作成(関数)			最大値・最小値、カウント			
28	基本的な表作成(セルの設定)			セル保護、条件付き書式			
29	基本的な表作成(関数)			端数処理			
30	期末試験			表計算の基本(計算式、関数、編集)			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスマナー		担当者名	佐藤 千穂・高橋 和也			
			実務経験				
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	テストを使用しながらの講義や過去問を使用した模試を行い、間違えが多かった箇所は復習を行いながら確実な知識定着を目指し、将来職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する『ビジネス能力検定ジョブパス3級』合格をする。ジョブパス試験後も引き続きマナーなど社会人として必要な知識を習得する。						
学習到達目標	1.社会的、職業的に自立・自律した人間になるための考え方を育てる。 2.学生時代に身につけておくことを理解し、日々の生活に自ら良い変化を起こすことができる。 3.働く意義を考え、自分が何のために働くのかを理解することができる。 4.自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する『ビジネス能力検定ジョブパス3級』に合格する。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授業内容			到達目標・学習課題など			
1	ビジネスマナーとは			ビジネスマナーの大切さを理解する			
2	働く意識・8つの意識			仕事の基本となる8つの意識を理解する			
3	あいさつ・おじぎの仕方について			おじぎの種類について理解する			
4	ジョブパス過去問題を通して出題傾向を知る						
5	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P22～P31『8つの意識』			
6	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P98～P111『ビジネス文書について』			
7	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P48～P53『報告・連絡・相談の仕方』			
8	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P89『PDCAサイクル』			
9	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P66.67『席次について』			
10	ジョブパス過去問題の解答及び解説			教科書P110『封筒の書き方』			
11	指示を受けるポイント・報告・連絡の仕方			5W2Hについて			
12	敬語について			対応する人による敬語の使い方の違いを学ぶ			
13							
14	前期末テスト						
15	試験の返却と今後の「ビジネスマナー」について確認						
16	来客対応の基本			受付・接客時の言葉遣いについて身に付ける			
17							
18	来客対応の流れ			エレベーター・応接室への誘導の仕方やお茶の出し方を身に付ける			
19							
20	電話の受け方・かけ方			電話の受け方・かけ方について			
21							
22							
23	名刺交換のマナーについて			名刺交換のマナーについて			
24	ビジネスシーンでの服装について			スーツ選びのポイントや着方を学ぶ			
25	会食のマナーについて			会食のマナーについて理解する			
26	冠婚葬祭のマナーについて			冠婚葬祭のマナーについて理解する			
27	入退室について			面接を想定した入退室の作法について学ぶ			
28							
29	期末試験						
30	今までの復習						

令和6年度 シラバス

授業科目名	愛玩動物飼養管理学		担当者名	佐藤 千穂・高橋 和也・亀山 陽代里			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	愛玩教本1巻・2巻 課題報告問題	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	通年	必修	講義
60							
授業概要	夏休みに解いてきてもらった「課題報告問題」の解答・解説を教本とプリントを使用しながら学習していく。また週1回、模擬試験を行い8割以上を合格点とし、点数が満たない学生は課題取り組みを行い確実な習得を目指す。また、対策授業の中で正解率が悪かった箇所を解説していく。						
学習到達目標	1.愛玩動物飼養管理士試験 2級の全員合格を目指す。 2.愛玩動物飼養管理士について理解する。 3.動物についての様々な法律について理解する 4.様々な動物の飼育方法・習性・体の作り・病気を理解する。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	愛玩動物飼養管理士試験について①			愛玩動物飼養管理士試験とはどのようなものか理解する			
2	愛玩動物飼養管理士試験について②			愛玩動物飼養管理士試験に向けての勉強の仕方を理解する			
3	愛玩協会によるスクーリング講義			スクーリングで内容を理解する			
4	愛玩課題報告問題の解答・解説(エキゾチックアニマルについて①)			エキゾチックアニマルに関して理解する			
5	愛玩課題報告問題の解答・解説(エキゾチックアニマルについて②)						
6	愛玩模試1回目						
7	愛玩課題報告問題の解答・解説(エキゾチックアニマルについて③)			エキゾチックアニマルに関して理解する			
8	愛玩模試2回目						
9	愛玩課題報告問題の解答・解説(猫について①)			猫に関して理解する			
10	愛玩模試3回目						
11	愛玩課題報告問題の解答・解説(猫について②)			猫に関して理解する			
12	愛玩模試4回目						
13	愛玩課題報告問題の解答・解説(猫について③)			猫に関して理解する			
14	期末試験						
15	愛玩課題報告問題の解答・解説(犬について①)			犬に関して理解する			
16	愛玩模試5回目						
17	愛玩課題報告問題の解答・解説(犬について②)			犬に関して理解する			
18	愛玩模試6回目						
19	愛玩課題報告問題の解答・解説(犬について③)			犬に関して理解する			
20	愛玩模試7回目						
21	愛玩課題報告問題の解答・解説(愛護史)①			動物愛護史について理解する			
22	愛玩模試8回目						
23	愛玩課題報告問題の解答・解説(愛護史)②			動物愛護史について理解する			
24	愛玩模試9回目						
25	愛玩課題報告問題の解答・解説(法律)①			様々な動物に関する法律について理解する			
26	愛玩模試10回目						
27	愛玩課題報告問題の解答・解説(法律)②			様々な動物に関する法律について理解する			
28	模擬試験1問1答①						
29	模擬試験1問1答②						
30	本試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	犬学		担当者名	亀山 陽代里			
			実務経験				
教科書	最新犬種図鑑 写真で見る犬種とスタンダード	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	犬種別の特徴であるマズルの長さ、耳の形、目の形、尾の形などの違いを犬種図鑑を見ながら学習する。感覚器官の人のとの能力の違いも合わせて学習する。						
学習到達目標	1.体を構成している骨格と犬体各部位の名称、歯についての基礎を理解する。 2.現在ジャパン・ケネル・クラブで登録されている各犬種のスタンダードに沿って起源、沿革、歴史、用途、性格、各部の特徴、サイズ、被毛などを理解する。 3.ドッグショーの意義や審査基準、血統書に記載されていることを理解する。 4.犬種の特徴として現れる頭部、ボディ、イヤー、テールなどの形の違いを学習することにより各犬種の形態の違いを理解する。 5.犬と人との感覚器官の構造、機能の共通点や相違点を学び日常生活のなかで細やかに犬の表情、しぐさを読み取り理解し、グルーミング実習に活かす。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授業内容			到達目標・学習課題など			
1	犬の祖先・進化			犬の歴史について知る。			
2	犬体名称			各部位の名称を覚える。			
3	骨格名称(イラストを描き各パーツと名称)			骨の種類、構成、名称を覚える。			
4	筋肉の種類(体高、体長 筋肉とそれぞれの役割)			筋肉の種類、働きを覚える。			
5	歯の数・咬み合わせ			歯の種類、働きなどを覚える。			
6	爪、パッドの構造			爪、パッドの構造を学び、覚える。			
7	被毛の種類・毛流について			毛流についてや被毛の種類、毛質を覚える。			
8	耳の種類			耳の種類、形の違いについて学ぶ。			
9	尾の種類			尾の種類、形の違いについて学ぶ。			
10	第1グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)			各犬種のスタンダードを学ぶ。			
11	第2グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
12	第3グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
13	第4グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
14	期末試験						
15	試験返却・今後の授業の流れについての確認						
16	第5グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)			各犬種のスタンダードを学ぶ。			
17	第6グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
18	第7グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
19	第8グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
20	第9グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
21	第10グループ(沿革、用途、特徴、サイズ、各部の特徴)						
22	目の構造、形状、視覚のメカニズム			目の構造や形状、見え方について学ぶ。			
23	歩様について			基本的な歩き方や歩様の種類について学ぶ			
24	味覚について			犬の味覚について学ぶ			
25	骨格形状や肢勢について			骨の付き方や肢勢などについて学ぶ			
26							
27	ドッグショー、スタンダードについて			ドッグショーの役割について学ぶ			
28	血統書について			血統書に何が記載されているのかを学ぶ。			
29	期末試験						
30	試験返却・1年間の振り返り						

令和6年度 シラバス

授業科目名	グルーミング学(1)		担当者名	高橋 和也			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	DOG GROOMER	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	基本的にはプリント記入や板書をしつつ、補足説明も行いながら進める。カットに関する授業の際にはウィッグを使用して見せながら授業を行う。						
学習到達目標	1.犬に対する美容の知識を習得する。 2.被毛や皮膚の構造、シャンプーの役割を知ることで自分が作業を行う際の注意点を覚えると同時に現場に出た際を想定し、お客様への勧め方を習得する。 3.グルーミング作業の流れや作業方法も座学で知識を習得することにより、技術向上へ繋げる。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	グルーミングの役割、トリマーとしての心構え			授業の目的を知り、生体を扱うという自覚を持って実習に取り組める心構えを学ぶ。			
2	作業前に行う犬の状態確認・グルーミングの流れ			作業を開始する前に確認することを理解し、体調不良などのトラブルを避ける知識を学ぶ。ブラッシング等の目的を理解することで作業の重要性を知る。			
3							
4	爪の構造・肛門腺			爪の構造や肛門腺について理解する。			
5	耳の構造			耳の構造を理解し、掃除する際の注意点や犬種による耳毛抜き必要性・疾患を理解する。			
6	ハサミ・クリッパーと様々なトリミング器具について			それぞれの種類と構造・名称を学び、手入れ方法や保管方法などを理解し、自身でもメンテナンスを行えるようにする。また、業務全般の衛生管理の方法を理解する。			
7	グルーミング犬種の飾り毛カット			板書とウィッグを併用しながら実際に見せることで、カットする形、作業する際の注意点などを理解し、グルーミング実習で実践できるようにする。			
8	グルーミング用語・被毛の種類			グルーミングに関する用語を学び、作業への理解を深める。			
9	ボディクリッピングの方法			ボディクリッピングや、ブレンディングについて理解する			
10	ポメラニアンについて			ポメラニアンスタンダード・グルーミング方法、ペットカットについて理解する			
11	リボンについて			サービスの一部として行われることの多いリボン付けについて、ウィッグを用いて手順を学ぶ。			
12	ブードルについて			ブードルのスタンダード・グルーミング方法、ペットカットについて理解する。			
13							
14							
15	期末試験						
16	犬の皮膚			犬の皮膚の構造について理解する。			
17	犬の被毛			犬の被毛の構造について理解する。			
18	シャンプー・リンスの役割、効能について			シャンプーの方法や仕組み、用途を理解する。			
18	ヨークシャテリアについて			ヨークシャテリアのスタンダード・グルーミング方法、ペットカットについて理解する。			
19	マルチーズ・シーズーについて			マルチーズとシーズーのスタンダード・グルーミング方法、ペットカットについて理解する。			
20	被毛の色			犬の被毛の色について理解する。			
21	犬のワクチン			動物のワクチンについて理解する。			
22	犬に多い病気			犬に多い病気について理解する。			
23	寄生虫			寄生虫に関する理解を深め、予防、対処方法を学ぶ。			
24	遺伝性疾患			犬に多い遺伝子疾患について理解する。			
25	SAE公認トリマーライセンス初級 筆記試験対策			筆記試験に向け、傾向の理解と対策を行う			
26							
27							
28	ブードルのショークリップについて			ブードルのショークリップについて学び、2年次に実践できるように理解する。			
29	シニア犬のグルーミングについて			シニア犬を扱う上での注意事項や若い犬との違いを理解しながら、負担をかけないグルーミング方法を学ぶ。			
30	期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	グルーミング実習		担当者名	高橋 和也			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	なし	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		12					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	通年	必修	実習
360							
授業概要	2人1組で1頭のモデル犬を使用して作業を行う。ブラッシングやシャンプーなど、犬に対する必要最低限の手入れについて実践的に学んでいく。						
学習到達目標	1.犬体の造りを理解し、犬に負担がかからないように作業する意識を身に付ける。 2.各道具の使用方法や注意点を理解し、犬に怪我をさせないように作業を行えるようになる。 3.効率よく作業を行うためにその犬に合わせた保定方法を理解し、身に付ける。 4.ブラッシングから無駄毛のカットまでの全ての作業の工程について理解し、実践できるようになる。 5.SAE公認トリマーライセンス初級の合格を目指す						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	実習で使用する道具の配布と使用方法・注意点			道具の名称を覚える			
2				各道具の持ち方や使用方法・注意点を理解する			
3	犬(生体)を扱う上での注意点			生体を扱うことの大切さを理解する			
4	ウィッグを使用時のブラッシング練習・清掃の大切さ			ブラッシング方法の理解・衛生面の大切さの理解			
5	【モデル犬を使用】 ブラッシング・コーミング・耳掃除・爪切り・シャンプー・ドライイングまでの作業工程の理解と実践			毛玉・もつれの状態を理解し、ブラッシングとコーミング方法を身に付ける			
6				爪切り・耳掃除の方法と注意点を理解する			
7	《使用するモデル犬の犬種例》 ダックス・チワワ・柴犬・コーギー・パグ ゴールデンレトリバー・ボーダーコリーなど			シャンプーの種類と選択方法を理解する			
8				肛門腺絞りの方法を学ぶ			
9	《使用するモデル犬の犬種例》 ダックス・チワワ・柴犬・コーギー・パグ ゴールデンレトリバー・ボーダーコリーなど			ドライイングの工程と注意点を理解する			
10				保定方法を身に付ける			
11	【モデル犬を使用】 足裏・足周り・肛門周り・腹部のクリッピングまでの作業工程の理解と実践			ハサミの持ち方・使用部位を理解する			
12				足裏・足周り・肛門周りのカットする箇所の理解と注意			
13	《使用するモデル犬の犬種例》 ダックス・チワワ・柴犬・キャバリア・MIXなど			クリッパーの使用方法を理解する			
14				期末試験			
15	《使用するモデル犬の犬種例》 ダックス・チワワ・柴犬・キャバリア・MIXなど			尻の飾り毛についてトリミング方法を学ぶ			
16				腹下の飾り毛についてトリミング方法を学ぶ			
17	《使用するモデル犬の犬種例》 ダックス・チワワ・柴犬・キャバリア・MIXなど			胸の飾り毛についてトリミング方法を学ぶ			
18				長毛種のブラッシングを理解する			
19	【モデル犬を使用】 長毛種のグルーミングについて			耳毛処理の必要性と方法を理解する			
20				長毛種のシャンプーとドライイングを理解する			
21	《使用するモデル犬の犬種例》 ブードル・ヨーキー・マルチーズ・ポメラニアンなど			毛玉・もつれの状況を把握する			
22				犬の扱い方を理解する			
23	【モデル犬を使用】 1人でグルーミング作業を行う際の工程について 短毛種から中短毛種			起こりうる怪我や事故について理解する			
24				1人で行う際の保定方法を身に付ける			
25	《使用するモデル犬の犬種例》 ブードル・ヨーキー・マルチーズ・ポメラニアンなど			一連の流れを理解し、実践する			
26				長毛種のトリミング方法を理解する			
27	【モデル犬を使用】 1人でグルーミング作業を行う際の工程について 長毛種のトリミングについて						
28				期末試験			
29	《使用するモデル犬の犬種例》 ブードル・ヨーキー・マルチーズ・ポメラニアンなど						
30				期末試験			

令和6年度 シラバス

授業科目名	しつけ入門		担当者名	澤口 桂			
			実務経験				
教科書	なし	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	後期	必修	講義
		30					
授業概要	動物がとって当たり前な行動を理解し許容することを学ぶために、行動に関して学びます。また、動物の学習の仕組みを正しく理解することで、特定の場所や刺激が嫌われる(または好かれる)原因を考え、自身がどのように業界人としてかかわる必要があるか考えます。						
学習到達目標	1.犬の本能と行動を理解する 2.犬のボディランゲージを知り、ストレスケアにつなげる 3.動物の学習の仕組みを理解し、サロンや病院等を嫌がる子への対応や特定の刺激を嫌いにさせない手法があることを知る						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	この授業で学習すること			本科目の内容を理解する			
2	本能（社会的本能とは）			本能について、それぞれの違いについてなどを理解			
3	本能（自衛本能、逃走本能、運動本能、遊戯本能）						
4	行動（個体行動）						
5	行動（個体行動・社会行動）			行動について、それぞれの違いについてなどを理解			
6	行動（社会行動）						
7	行動（異常行動）			行動について、それぞれの違いについてなどを理解する。			
8							
9							
10	カーミングシグナル			犬と猫のカーミングシグナルの違いを理解する			
11	学習の仕組み、古典的条件付け			それぞれの違いを理解する。			
12	オペラント条件付け						
13	試験対策						
14	期末試験						
15	トレーニングについて						

令和6年度 シラバス

授業科目名	トリミング実習(1)		担当者名	高橋 和也			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	なし	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	後期	必修	実習
120							
授業概要	2人1組で1頭のモデル犬を担当し、講師からトリミング方法を学びつつ、実践していく。時間をかけて行うため、全てのトリミング作業を終わらせることを優先にせず、各部のカット方法を理解することを優先として進めていく。 ※モデル犬の予約状況によって授業内容の変更あり						
学習到達目標	1.犬種毎(プードル、ヨーキー、ポメラニアン等)のカットスタイルを理解し、各部のトリミング方法を実施する。 2.2人で1頭を担当し、片面ずつトリミングすることで切り方(ハサミの向き・動かし方)を時間をかけて取り組み、最終的には形を頭でイメージして実践できるようにする。 3.SAE公認トリマーライセンス初級の合格を目指す						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授業内容			到達目標・学習課題など			
1	グルーミング作業の時間短縮 足裏・肛門周りのバリカン作業			シャンプーやドライングの効率性を考える			
2				犬に合わせた保定方法を身に付ける			
3				バリカン作業の注意点を理解する			
4	【ヨークシャー・テリアのトリミングについて】			ボディバリカンのラインを理解する			
5	ボディバリカンの方法			耳先クリッピング時の注意点を理解する			
6	耳先クリッピングの方法 シザーワーク			シルキーコートに対するシザーリングの仕方を身に付ける			
7	【ポメラニアン・マルチーズのトリミングについて】			爪出しの理由と作業方法を理解する			
8	ポメラニアン独自の作業について(爪出し・耳フチカット)			耳フチカットの理由と切り方を学ぶ			
9	ペットカットについて			サマーカットなどのスタイルについて学ぶ			
10	【プードルのトリミングについて】 ブラッシング・ドライングの重要性 テディベアカット			巻き毛に対するブラッシングの重要性を学ぶ			
11				ドライング時の注意点を学ぶ			
12				テディベアカットの作り方を理解する			
13				シザーリングの工程を学ぶ			
14	期末試験						
15							

令和6年度 シラバス

授業科目名	猫学		担当者名	山下 慈			
			実務経験	キャットショーの審査員として活動中			
教科書	猫の教科書	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	1年	前期	必修	講義
30							
授業概要	猫の基本的な特徴や習性を確実に理解することを目標に、主に教科書を使用し、足りない部分はプリントで補うようにしている。また、単元終了後に確認プリントを行い、確実な習得を目指す。						
学習到達目標	1.犬と猫の習性の違い、特徴の違いを理解しお客様に説明できるようになる。 2.猫種ごとの特徴や性格の違いを理解し、お客様に適した猫種を紹介できるようにする。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	自己紹介/教室内での過ごし方/猫の抱き方、触り方 猫の教科書の紹介						
2	猫の歴史・犬との違い 猫の教科書p90			猫の特徴・習性について理解する			
3	猫の体の構造と機能 猫の教科書p96						
4	猫の飼い方、扱い方 猫の教科書p104			猫の飼育時の注意点などを理解する			
5	猫の食餌について 猫の教科書p110						
6	猫の健康について 猫の教科書p114						
7	猫の行動学 猫の教科書p122						
8	キャットトレーニング 実際に猫とトレーニングをする。						
9	猫の繁殖学 猫の教科書p126			ブリーディングの方法、交配の適齢期などを理解する			
10	猫の妊娠、出産 猫の教科書p131			妊娠の兆候、出産の準備などを理解する			
11	猫の遺伝学 猫の教科書p134						
12	キャットグルーミング 猫の教科書p148			グルーミングとは キャットグルーミングに使用する道具 犬との違いについて理解する			
13	キャットグルーミング 実際にグループで1頭、シャンプーする。						
14	期末試験						
15	返却・解答・復習						

令和6年度 シラバス

授業科目名	キャリアガイダンス		担当者名	佐藤 千穂			
			実務経験				
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	主に講義形式で就職対策(履歴書・志望動機・面接対策・一般常識)を行い、面接対策に関しては実技を踏まえ、実践的に身に付ける授業を展開していく。また、企業が求める人材像を理解し、必要とされる職務知識や仕事に臨む心構え、姿勢を身につける。						
学習到達目標	1.企業が求める人材像を理解し、魅力のある人間になるためのエンployアビリティを身に付け、実践できる。 2.就職活動をするために必要となる能力(履歴書・志望動機等)を身に付け、主体的に就職活動ができる。 3.社会に出た際に良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身に付け、実践できる。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	求職票の作成/春季インターンの感想			就職活動を行うための情報収集の理解 インターンシップに向けての準備			
2	就職活動の流れ						
3	2年時の資格試験のスケジュール確認と申込						
4	求人票の見方について						
5	就職活動シート作成						
6	自己分析シート作成			自身の強みと弱みを理解する 向上と改善策を考える			
7	作成した自己分析シートの講評・手直し						
8	受験報告書の作成について						
9	面接対策(入退室・面接内容)			面接時のマナーや流れの理解 第一印象の大切さの理解 効果的な話し方と対策を考える			
10	個人模擬面接						
11	(入退室・面接内容)						
12	グループ模擬面接			話し方から受ける印象の理解 複数相手にする際の注意点を把握する 相手に伝えることの難しさを感じる			
13							
14	期末試験						
15	試験返却・解答解説						
16	後期の就職活動や授業内容について			今後のスケジュールや内定後の注意点を確認する			
17	一般常識問題						
18	計算問題			商品の販売やサービスを提供する際に必要となる料金の計算方法を学び、電卓を使用せずに計算する能力を身に付ける			
19							
20	職場のルール			良い人間関係を築くために相手を不快にさせないための注意点や職場が効率的に進めるための配慮に関して理解する			
21							
22	心証「D言葉」について			自らの言動によって相手にどのような印象を与えるのかを理解する			
23	注意の受け方			注意を受けた際の姿勢を学ぶ			
24	離職率について			離職率を把握し、働き方を考える			
25	ワークルールについて			労働法について学ぶ			
26	年賀状作成			内定先企業に年賀状を作成する			
27	冠婚葬祭について			慶事や葬儀などのマナーについて理解する			
28	クレーム対応			クレーム時の対応と対策について理解する			
29	期末試験						
30	2年間の学校生活まとめ			2年間の復習と今後の人間関係の構築の大切さを理解する			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスソフト実習(2)		担当者名	加藤 朗			
			実務経験				
教科書	30時間でマスターExcel2013 (実教出版)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		1					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	2年	前期	必修	実習
30							
授業概要	ビジネス社会でパソコンは欠かせない道具(ツール)であり、ペット業界とはいえ例外ではありません。その中でもビジネス文書の作成が求められるスキルであり、その手段としてワープロ、表計算ソフトの利活用があります。						
学習到達目標	ビジネスソフトのひとつである表計算ソフトの基本的な操作方法を理解します。MS-Excelを使用し、基本的な操作方法を理解します。また、全国経理教育協会主催の文書処理検定(3・2級)の取得も目標とします。						
評価方法	出席・課題取組・実技試験など総合評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション(1年次の復習)			計算式、関数、その他基本事項			
2	グラフ作成			作成する際の注意点、棒グラフ			
3	グラフ作成			折れ線グラフ、円グラフ			
4	グラフ作成			3Dグラフ、複合グラフ、レーダーチャート			
5	検定試験対策(順位付けと並べ替え)			全経文書処理3級(学習範囲以外について)			
6	表検索			Vlookup関数の理解			
7	表検索			Hlookup関数の理解			
8	表検索			Index関数の理解			
9	文字列処理			文字の長さ、取り出し、変換、結合			
10	文字列処理			字列・数値の返還			
11	データベース機能			便利な入力方法、ウィンドウ操作、並べ替え			
12	データベース機能(分析)			データの抽出、グループ集計			
13	データベース機能(分析)			クロス集計			
14	文字列処理			文字列の分解、結合他			
15	データベース関数			条件付きの合計・平均・最大・最小・カウント			
16	期末試験			ここまでのまとめ			
17	利用方法の応用			マルチワークシート、ワードとの連携			

令和6年度 シラバス

授業科目名	グルーミング学(2)		担当者名	高橋 和也			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	DOG GROOMER	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	一般で飼育頭数の多いトリミング犬種を取り上げて、犬種別のスタンダード、バランス、クリッパーの入れ方、シザーの使い分けを学びその犬種らしさを引き出すトリミングの技法を学習する。						
学習到達目標	1. トリミング犬種別のスタンダード(特徴、被毛、毛色、頭部、胴、四肢など)をよく理解し、その犬種に必要な道具を正しく使用し、クリッパーライン、シザーリング法を理解する。 2. 犬種のスタンダードにより近づけられるよう、トリミングの仕方(短所、長所、毛質の改善など)を理解する。 3. 応用のペットクリップを身につける。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	今後の授業内容、ライセンス試験について						
2	ブードル ペット・クリップ【ケネル&ラムクリップ】			ペットクリップの基礎を学び、各スタイルへのアレンジ方法を学ぶ			
3							
4	ブードル 様々なペット・クリップ						
5	ブードル ペット・クリップ名称			ペットクリップ各パーツの名称を学ぶ			
6	ミニチュア・シュナウザーについて			トリミングに繋がるスタンダードの理解 バリカンの部位によるmm数の違いと特徴ある頭部の作り方を学ぶ モヒカン、テディ、耳の作り方の違いを理解す			
7							
8	ブードル ペットカット【ライセンスでのカットについて】			ライセンスでの指定のカットスタイルを学ぶ			
9							
10	ブードル ペットカットのアレンジカット			アフロやパンタロンについて学ぶ			
11							
12	ビションフリーゼについて			トリミングに繋がるスタンダードの理解 頭部とネックの作り方を学ぶ			
13							
14							
15	期末試験						
16	アメリカン・コッカー・スパニエルについて			トリミングに繋がるスタンダードの理解 部位によるmm数の把握とスタイルの理解			
17							
18	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアについて			トリミングに繋がるスタンダードの理解 部位によるmm数の把握とスタイルの理解			
19							
20	テリアの被毛について			ブラッキングの意味や方法について学ぶ			
21	SAE筆記試験対策			模擬試験 毎年出題傾向の高い犬種別の対策			
22							
23							
24	オーラルケアについて			犬の歯磨き方法やオーラルケアについての知識を深める			
25							
26	シニア犬のトリミング方法			シニア犬の扱い方を学ぶ			
27	シャンプーの選び方について			シャンプーの選び方を学ぶ			
28	薬用シャンプーの選び方について			薬用シャンプーの成分や効能を学ぶ			
29							
30	期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	小動物飼養管理学		担当者名	佐藤 千穂			
			実務経験	ペットシッター・ペットホテルでの実務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	2年	後期	必修	講義
30							
授業概要	ウサギ、ハムスターを中心にペット飼育に至るまでの歴史と生理・生態、適切な飼育及び管理方法について学ぶ。また、生体を用いた保定方法についても実践しその技術を身に付ける。						
学習到達目標	1、小動物(被捕食動物)がいかにデリケートな生き物であるかを理解する。 2、小動物の生理・生態を理解することで適切な飼養管理をすることができる。 3、お客様に伝えられる知識を得る。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	エキゾチックアニマルの定義について						
2	ウサギについて①			ペットとして使用されるまでの歴史と現状について/ペットウサギが人気の理由を知る			
3	ウサギについて②			ウサギの種類と特徴を理解する			
4	ウサギについて③			飼育に必要な用品について理解する			
5	ウサギについて④			ケージからの出し方、戻し方を身に付ける 保定方を身に付ける			
6	ウサギについて⑤			生活環境としつけ/病気について			
7	フェレットについて①			ペットとして使用されるまでの歴史と現状について/フェレットが人気の理由を知る			
8	フェレットについて②			フェレットの種類と特徴を理解する			
9	フェレットについて③			飼育に必要な用品について理解する/病気について			
10	ハムスターについて①			ペットとして使用されるまでの歴史と現状について/ハムスターが人気の理由を知る			
11	ハムスターについて②			ハムスターの種類と特徴、飼育用品を理解する			
12	ハムスターについて③			症状と原因、予防法について理解する			
13	チンチラについて①			ペットとして使用されるまでの歴史と現状について/チンチラが人気の理由を知る			
14	チンチラについて②			チンチラの種類と特徴、飼育用品を理解する			
15	後期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	トリミング実習(2)		担当者名	高橋 和也			
			実務経験	トリミングサロンでの実務経験がある			
教科書	なし	単位数	学科 トリマー科 トリマーコース	学年 2年	学期 通年	科目種別 必修	授業方法 実習
		24					
		時間数 720					
授業概要	前期は2人1組、後期は1人で1頭のモデル犬を担当する。モデル犬の性格、大きさ、被毛の状態が犬種により違うため、様々な犬種を扱うことにより、トリミングにおける犬の扱い方、保定の仕方、クリッパーの替え刃のミリ数の選択、シザー類の使用場所、方法を学習。※モデル犬の予約状況によって授業内容の変更あり						
学習到達目標	1.SAE「中級」ライセンスの合格に向けて、一人1頭の作業を行い、クリッパーワークのラインの設定、シザーリングの進め方、後軀～中軀～前軀～頭部の作り方、時間短縮、道具の扱い、鋏の使い方、モデル犬のスタック、コマンドのかけ方など試験対策も重点に学ぶ。 2.一般家庭のモデル犬をお借りしての実習も同時に行うため、飼い主様の要望を取り入れながらペットカットの技術も身に付ける。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	【プードルのトリミングについて】			1年次の復習を含め、プードルで1番需要の多いデディヘアカットについて技術を身に付ける			
2	ブラッシング・ドライングの重要性						
3	デディヘアカット ボディバリカンの工程						
4	【プードルのトリミングについて】			カットスタイルの把握と完成形へのトリミングスピードの向上を目指す。その他、要望の多いアフロカットやバンタロン等のアレンジカットについて作業工程と完成形を理解する			
5	デディヘアカットの作業スピード向上						
6	アフロカットなどのアレンジカット						
7	【ミニチュアシュナウザーのトリミングについて】			シュナウザーのスタンダードを把握することや飼い主様からの要望に合わせてアレンジカットを行い、技術を身に付ける			
8	部位ごとのクリッパーmm数の違いやクリッパーライン						
9	その他アレンジカット						
10	【シーザー・テリア種・MIX犬のトリミングについて】			シーザーの顔カットについて可愛く見えるポイントなどを把握する。その他、要望によって足先のバリカンやライオンテール等のトリミング方法を身に付ける			
11	ペットカットの作業工程						
12	その他アレンジカット						
13	【プードルのトリミングについて】			ライセンス試験に向けて各バリカン作業の方法や注意点を学び、効率的な作業方法を身に付ける			
14	ケネル&ラムクリップ・デディヘアカット						
15	期末試験						
16	【プードルのトリミングについて】			ライセンス試験に向けて各バリカン作業の方法や注意点を学び、効率的な作業方法を身に付ける			
17	ケネル&ラムクリップ・デディヘアカット						
18							
19	SAE公認トリマーライセンス試験対策			12月の試験に向けてカットスタイルの完成形を把握することや作業工程のスピード向上を目指す			
20							
21							
22	【様々なモデル犬のトリミングについて】			これまで身に付けた知識と技術を活かし、効率よく犬に負担のないようにトリミングを行う技術を身に付ける			
23	モデル犬の飼い主からの要望に合わせたトリミング						
24	各作業のスピードアップ						
25				2月の試験に向けてカットスタイルの完成形を把握することや作業工程のスピード向上を目指す			
26	SAE公認トリマーライセンス試験対策						
27	(第2回目受験者)						
28	1回目の受験者は一般モデル犬での実習						
29				期末試験			
30	期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	ペットショップ販売学		担当者名	佐藤 千穂			
			実務経験	ペットシッター・ペットホテルで勤務経験あり			
教科書	ペットビジネスプロ養成講座 ペットショップ基礎&実践	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	2年	前期	必修	講義
30							
授業概要	<p>一般の飼い主様が頻繁に購入する商品やその年毎に流行している商品を紹介し、その内容について講義形式で授業を行う。 また、動物販売時の注意点、フードや栄養学、販売時に必要とされる犬種・猫種別の特徴を学ぶ。</p>						
学習到達目標	<p>1・ペット販売時の注意点と販売する責任を理解する 2・主要犬種の特徴・注意点について理解する 3・猫の特徴と販売時の注意点について理解する 4・犬猫用品の使い方と注意点について理解する 5. ペットフードの特徴と栄養素について理解する</p>						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	生き物を仕事として行う責任について			動物を販売する責任について理解する			
2	生体販売について			ペット・ショータイプの違いや販売時の注意点を学ぶ、お客様に販売する際の確認事項について理解する			
3							
4	健康管理をする際のポイント			健康管理の際、犬体格部別でチェックすべき箇所を理解する。			
5	感染症とワクチン			感染症の種類とワクチンの内容について学ぶ			
6	社会化期について			犬の社会化期の時期と特徴について学ぶ			
7	チワワについて			特徴や販売する際の注意点を学ぶ			
8	トイ・プードルについて						
9							
10	猫について			猫に関して特徴や販売されることの多い猫種をピックアップして販売時の注意点を学ぶ			
11							
12	フードについて			5大栄養素やフードの特徴について学ぶ			
13	ペットシートと猫砂について			ペットシート・猫砂のタイプや素材別の特徴について学び、素材ごとの違いと吸収性について			
14	購入するポイントについて			お客様の購買意欲を高めるための手法や説明方法について学ぶ			
15	期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	ペットの病気と健康管理		担当者名	川村 康浩			
			実務経験	院長(獣医師)として動物病院を経営している。			
教科書	わかる犬の病気	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	トリマー科 トリマーコース	2年	前期	必修	講義
30							
授業概要	基本的に講義形式で授業を行う。動物の基本的な解剖学・生理学から学び、特に遭遇する頻度の高い病気や社会的に重要な病気についての講義を行う。実践で使えるように、聴診器の使い方などの実習も行う。						
学習到達目標	1. 動物を扱う仕事に就く上で、動物の健康管理などの理解を深め、それを飼い主様に説明ができるようなトリマーになる。 2. 動物福祉について考え、将来動物福祉的観点も意識できるトリマーになる。						
評価方法	評価は100点法と4段階法の併用。						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション・動物とは・命とは			一人一人が思う動物(ペット)とは何か。その役割は何か。			
2	解剖・生理学			基本的な骨格(骨の名称)と筋肉の名称、内蔵の名称と働きについて学ぶ			
3	ワクチンについて			ワクチンの原理や接種時に注意点について学ぶ			
4	感染症について			犬猫のウイルス性感染症について学ぶ			
5	フィラリア症について			フィラリアの症状や予防法について学ぶ			
6	寄生虫について			犬猫に寄生する外部寄生虫について学ぶ			
7	熱中症について			熱中症の症状やかかりやすい犬種と環境について学ぶ			
8	不妊・去勢について			不妊・去勢の必要性とそれに関連する疾患について学ぶ			
9							
10	皮膚疾患とスキンケアについて			皮膚の病気による変化や身近な疾患、薬用シャンプーの使用方法について学ぶ			
11	心臓疾患について			心臓の働きと心疾患について学び、心臓を患っている動物に対しての注意点を理解する			
12	呼吸器疾患について			呼吸器疾患の予防と管理方法について学ぶ			
13	犬のバイタルチェックについて(実習授業)			体温や体重、心拍数の計り方やその際の犬の扱い方について学習し、身に付ける			
14	期末試験						
15	試験返却・その他よく見る疾患について			比較的身近な疾患(ヘルニア・胃捻転・成形疾患)について学ぶ			